

# 所蔵展示リスト「女性と演芸」(2016年8月～12月)

女性アーカイブセンター企画展示「寄席で演じる」と連動して、女性と演芸に関する資料を展示します。

国立女性教育会館女性教育情報センター

No.	書名:副書名	編著者名	出版者	発行年	請求記号
1	江戸のセクシュアリティ&笑い	日本性教育協会編	日本性教育協会	2003	367.9/Se17
2	おかみさん / 海老名香葉子著	海老名香葉子著	文藝春秋	2008	289/O42
3	沖縄カミサン繁盛記: 沖縄芸人妻と魅惑の女性たちBEST26	椎名誠監修: 宮良ミキ, 宮城一春著	笑楽過激団	2008	281.99/O52
4	お囃子えりちゃん寄席ばなし	恩田えり著; 新子友子漫画	イースト・プレス	2012	779.1/O28
5	女の独り立ち	神田紅著	産経新聞出版	2008	779/O66
6	女興行師吉本せい: 浪花演藝史譚	矢野誠一著	筑摩書房	2005	289/O66
7	女落語家の「二つ目」修業	川柳つくし著	双葉社	2010	779/O66
8	神田紅: 芸道25年: 紅のはんせい記		クロスポイント	2002	779.12/Ka51
9	神田紅の語って紅伝	神田紅, 宮原勝彦著	西日本新聞社	2003	779.12/Ka51
10	芸妓通	花園歌子著	ゆまに書房	2004	384.9/G32
11	芸人の妻たち	太田プロダクション芸人妻著	太田出版	2013	779/G32
12	瞽女うた	ジェラルド・グロマー著	岩波書店	2014	384.3/G74
13	瞽女キクイとハル: 強く生きた盲女性たち	川野楠己著	鉱脈社	2014	384.3/G74
14	瞽女と瞽女唄の研究 研究篇、史料篇	ジェラルド・グロマー著	名古屋大学出版会	2007	384.3/G74
15	こんにちは、舩座です!: 男女共同参画社会をコントで演じて10年: 舩座10周年記念誌		舩座10周年記念誌編集委員会	2013	770/Ko75
16	最後の瞽女小林ハル光を求めた一〇五歳	小林ハル語り; 川野楠己構成	日本放送出版協会	2005	779/Sa18
17	3・11後を生き抜く力声を持って	神田香織著	インパクト出版会	2014	779/Sa61
18	職業は津軽三味線奏者: 引きこもりから夢への挑戦	鈴木利枝著	文芸社	2015	768/Sh96
19	女性芸能の源流: 傀儡子・曲舞・白拍子	脇田晴子著	角川書店	2001	772/J76
20	竹女ぼさま三味線をひく	野澤陽子著	津軽書房	2006	768/C44
21	Noと言わない生き方: 自分の人生への責任と愛	足立禮子著	三五館	2007	773/N97
22	鋼の女: 最後の瞽女・小林ハル	下重暁子著	集英社	2003	779/H12
23	花も嵐も、講釈師が語ります。: バツイチ子連れ、泣き笑い半生記	神田香織著	七つ森書館	2005	779/H27
24	林家きく姫のみんなが元気になる女性落語家入門	林家きく姫監修: こどもくらぶ編・著	彩流社	2015	779/H48
25	張扇一筋ジェンダー講談: 「日本初女性真打」講談師かく語りき	宝井琴桜著	悠飛社	2002	779/H33
26	ふまじめ介護: 涙と笑いの修羅場講談	田辺鶴瑛著; 田辺銀冶画	主婦と生活社	2008	598.4/F87
27	プロの尼さん: 落語家・まるこの仏道修行	露の団娘著	新潮社	2013	779/P97
28	水戸と太田の芸妓たち: 芸妓の今昔	額賀せつ子著	K5 ART DESIGN OFFICE	2015	384.9/Mi62
29	ミヤコ蝶々女ひとり	日向鈴子著	講談社	2008	779/Mi76
30	吉本興業女マネージャー奮戦記「そんなアホな!」	大谷由里子 [著]	立東舎立東舎文庫	2016	779/Y91
31	「寄席で演じる」インタビュー集: 平成28年度国立女性教育会館女性アーカイブセンター企画展示	国立女性教育会館情報課編	国立女性教育会館情報課	2016	779.1/Y85
32	余命一年落語家になる: 楽しいことはラクなこと	天神亭楽々, テレビ朝日取材班著	ぶんか社	2009	281/Y81
33	四十五歳の前座: 女講釈師駆歩記	宝井琴嶺著	文芸社ビジュアルアート	2007	779/Sh32
34	子ども落語家 りんりん亭りん吉	藤田富美恵	文研出版	2012	779.13/Ko21
35	落語、演っちゃいました	たかぎりょうこ	祥伝社	2012	779.13/R12
36	私がマッキンゼーを辞めた理由: 自分の人生を切り拓く決断力	石井てる美著	角川書店	2013	779/W47

## 平成28年度女性アーカイブセンター企画展示

### 「寄席で演じる ～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」

寄席とは…落語・講談・浪曲・漫才など、演芸を専門に行っている劇場のことです。

女性アーカイブセンターでは、さまざまな分野で「チャレンジした女性たち」を紹介する企画展示をシリーズで行っています。今年度は、東京の落語・講談・浪曲界で演者として活躍する女性たちをテーマに、関連団体や個人から貴重な資料を借用して展示を開催します。

期間：平成28年8月1日（月）～12月18日（日）

※休館日：10月11日(火)、11月14日(月)、12月12日(月)

今回の展示で取り上げている落語・講談・浪曲についてご紹介します。

#### 落語とは



滑稽を主にした噺で、最後に気の利いた言葉で締めくくる「落ち」があるところが特徴です。

使う小道具は扇子と手ぬぐいのみ。

会話を中心に身振りや手振りで噺を進め、一人で何役も表現します。

#### 講談とは



釈台(しゃくだい)と呼ばれる小机を張り扇(はりおうぎ)でパンパンとリズム良くたたき、調子を取りながら主に歴史にちなんだ読みものを一人で語るところが特徴です。

独特な抑揚と小道具を用いて話を盛り上げます。

講釈とも呼ばれています。

#### 浪曲とは



浪曲師（語り手）と曲師（三味線弾き）の二人で演じるところが特徴です。

三味線を伴奏として、歌う部分の「節(ふし)」とセリフ部分の「啖呵(たんか)」があります。浪花節とも呼ばれています。